

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【職業科】

1. 対象 知的障害 高等部2年生 8人

教師の簡単な指示を聞いて活動に取り組むことができる生徒や、一斉指示では内容を聞き取ることが難しく、個別で確認をすることが必要な生徒がいる。また、見通しをもって活動に取り組んだり、具体物を提示することで、やることが分かり活動に進んで取り組むことができたりする生徒がいる。2年生は、7月に初めての職場実習、10月に2回目の実習を行う予定である。職場実習に期待感をもっている生徒が多く、普段の生活でも実習を意識することで、学習の意欲が向上する。

2. 単元名「職場実習にむけて」

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	・職場実習を通して、将来の生活で自分に必要な力（自己課題）がわかる。
思考力、判断力、表現力等	・自己課題の解決策に気付いたり考えたりして、発表することができる。
学びに向かう力、人間性等	・自己課題を解決するために、自分の生活でできることを考えたり選んだりしようとすることができる。

4. 本時の目標

・職場実習の振り返りを通して、自己課題や良い所に気づき、生活の中で実践できる解決策を考えることができる。

5. 授業展開【**本時**・単元】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

解決したい課題や問い
・職場実習を振り返って、できたことやがんばったこと、次に向けてがんばることを考えよう。

考えるための材料			
・実習日誌	・職場実習評価表	・実習中の写真・動画	・ふりかえりシート
・自分のがんばったことや難しかったことを思い出す。 ・自信をもってできた仕事や好きな仕事分かる。	・他者評価から、自分の良い所や課題が分かる。	・写真を見て、がんばったことやできたことを思い出す。 ・実習の様子（動画を	・自己評価と他者評価が違うことに気付く。 ・自分の強み、課題が分かる。 ・課題の改善方法を生活の中で見つけようとする。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）
・実態別の3人グループを設定し、職場実習のふりかえりシートを見せあう。できたことや課題について発表し、称賛の言葉や、生活の中で改善できることを言い合う。（話し合いが進まない場合は教師が介入する） ・◎を増やしたいけど、どうしたらいいのかな。 ・○○さんのあいさつ、◎だね。○○さんのあいさつを真似してみよう。 ・実習の日の朝のしたくが、自分でできなかった…どうしたらいいのかな…

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）
・報告は自分から言うことができた。分からないことを相談することが難しかった。だから、作業学習の時間、クラスでも分からないことは、自分から相談するようにしよう。 ・大きな声であいさつをすることができた。学校でも、大きな声であいさつしているからだ…これからも続けていこう！ ・朝のしたく、自分でできた日もあったけど、やらない日もあったなあ…□□さんのアドバイスの通りに、決めた時間に毎日したくするようにしよう。 ・次は◎もらえるようにがんばろう！○○さんみたいになれたら、◎もらえるかも！